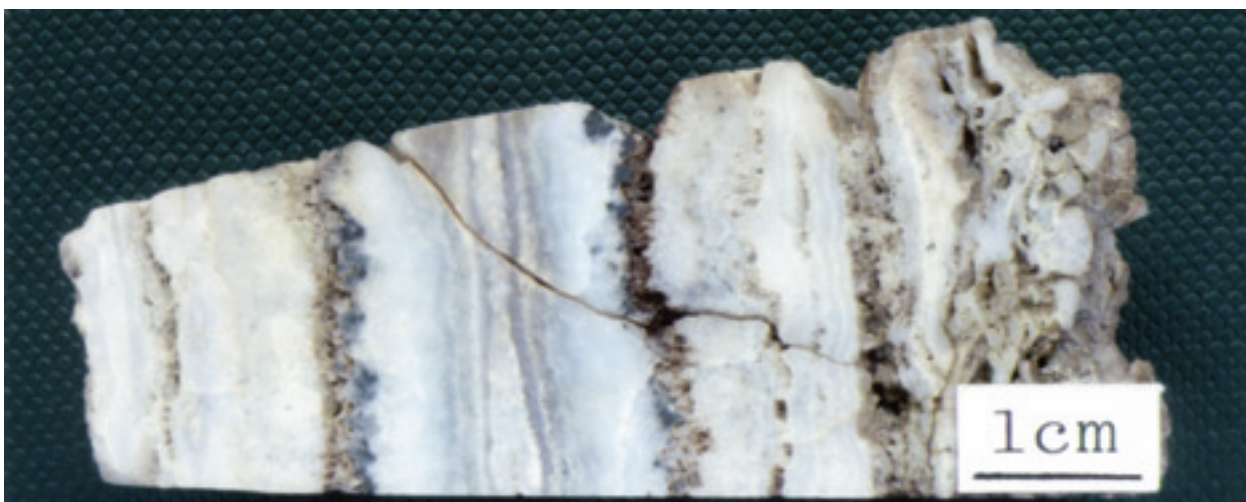


回想—北薩・串木野地域広域調査

<浦島幸世>



1. 菱刈の試錐予定地を視察する現地検討会。
1980.11.26.撮影。



2. 菱刈鉱山の鉱脈から最初に得られた鉱石。1981年2月、試錐55 MAHT-5号の深度291.70-291.85mの着脈部。大部分は石英と氷長石で、暗色部に、微粒のエレクトラム(金と銀の合金鉱物)、銅や鉄の硫化鉱物などが含まれる。Au 290.3g/t, Ag 167g/t。鹿児島大学総合研究博物館の標本。



3. 菱刈鉱山40mLW13B瑞泉1脈W。中央の淡色しま状部が金を含む石英氷長石脈で、両側の暗色部は四万十累層群のけつ岩。左下は茨城謙三さん。1987.5.26.撮影。



4. 菱刈鉱山の鉱石標本。左側は、山田鉱床70~50mL採鉱W150B友泉6-2脈から採取され、重さ約4t, Au 約40g/t。撮影場所は菱刈鉱山山田坑口前。2001.6.18.撮影。鹿児島大学総合研究博物館に寄贈されている日本最大の高品位金鉱石標本。